

▶ 16日 金曜

出エジプト



5:15 そこで、イスラエル人の人夫がしらは、パロのところに行き、叫んで言った。「なぜあなたのしもべどもを、このように扱うのですか。」

5:16 あなたのしもべどもには、わらが与えられていません。それでも、彼らは私たちに、『れんがを作れ。』と言っています。見てください。あなたのしもべどもは打たれています。しかし、いけないのはあなたの民なのです。」

5:17 パロは言った。「おまえたちはなまけ者だ。なまけ者なのだ。だから『私たちの主にいけにえをささげに行かせてください。』と言っているのだ。」

5:18 さあ、すぐに行って働け。わらは与えないが、おまえたちは割り当てどおりれんがを納めるのだ。」

5:19 イスラエル人の人夫がしらは、「おまえたちのれんがのその日その日の数を減らしてはならない。」と聞かされたとき、これは、悪いことになったと思った。

5:20 彼らはパロのところから出て来たとき、彼らを迎えに来ているモーセとアロンに出会った。

5:21 彼らはふたりに言った。「主があなたがたを見て、さばかれますように。あなたがたはパロやその家臣たちに私たちを憎ませ、私たちを殺すために彼らの手に剣を渡したのです。」

5:22 それでモーセは主のもとに戻り、そして申し上げた。「主よ。なぜあなたはこの民に害をお与えになるのですか。何のために、私を遣わされたのですか。」

5:23 私がパロのところに行って、あなたの御名によって語ってからこのかた、彼はこの民に害を与えています。それなのにあなたは、あなたの民を少しも救い出そうとはなさいません。」

6:1 それで主はモーセに仰せられた。「わたしがパロにしようとしていることは、今にあなたにわかる。すなわち強い手で、彼は彼らを出て行かせる。強い手で、彼はその国から彼らを追い出してしまう。」

人夫がしらも必死です。苦役で奴隷の生活であったのが、さらに苦しくなったからです。そこでモーセとアロンに「私たちを殺すために彼らの手に剣を渡した」というのも道理になっ

ています。このような時にこそモーセは辛かったことでしょう。民のためにと立ち上がったのに、結果は逆になったのです。悩みに悩んだでしょう。そこで彼のとった行動に注目すべきです。主のもとに行ったのです。彼の祈りの場でしょうか。

私たちも葛藤があるとき、悩みのときは、すぐに人に相談したりネットで検索したりせずに、主のもとに行くことが重要です。彼は主の確かな答えをいただきました。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

